



2014-2015 年度

国際ロータリー会長 / ゲイリー C. K. ホアン  
2690地区ガバナー / 松本 祐二

会長 / 内田 節夫 副会長 / 河原 治子  
幹事 / 福田磨寿穂 会計 / 小村 益造

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816  
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)  
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
12月18日	出雲文化伝承館 (出雲市芸術文化振興財団) 博物館事業部 次長 藤原 隆 様	出雲文化伝承館の博物館事業
1月8日	ホテルほり江 18:30 ~	新年例会
1月15日	会員 遠藤・原孝・大島治・清原	年男の抱負

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
44	35	9 (4)	87.5 %	95.00 %

■欠席者

飯塚俊 / 大谷 / 園山 / 三好 / 土江 (山根 / 牧野 / 木村 / 山口)

■来訪者

なし

■メイクアップ

12/14 河原・清原・黒田 (岡山)

\*\*\*\*\*

■次回例会受付当番

(1月15日) 三好洋平 / 園山 繁 / 曾田敏康  
(1月22日) 石原俊太郎 / 杉原朋之 / 高砂明弘

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	12/22	12/29(休)	松江南
火	出雲			松江しんじ湖 12/30 1/6 1/27
水	大社	12/24・31(休)		松江 12/24 12/31 1/28
木				松江東 12/18 12/25 1/1
金	出雲南	1/9 1/23	12/26・1/9(休)	

■会長挨拶

今年も残りわずかとなりました。早いもので、事業年度も丁度折り返し時点まで来ました。7月からの新年度も、今日は今年最後の例会です。会員の皆様がロータリー活動を推進され、ロータリーを楽しんでいただけたとおもいます。

私も毎回例会挨拶させていただいていますが、貧しい内容にもかかわらず辛抱していただき、また力強く支えてくださっていること感謝申し上げます。

今年度の重点目標の会員増強(3%)、そして10の重点項目など取り組む課題はまだありますが、少しでも実績を上げたいものです。今後ともよろしくお願いいたします。

明年度もまた明るい年となることを願って、ご挨拶いたします。

■幹事報告

1. 先週ご案内しましたIM (Intercity Meeting)の出欠表をお回ししておりますので宜しくお願い致します。

(特に入会5年未満の方は是非ご参加ください)

2. 例会変更

松江 RC 1/28(水) 4RC 合同夜間例会  
ビジター受付 定刻(12:00~12:30) 定例会場(ホテル一畑)  
松江しんじ湖 RC 1/27(火) → 1/28(水) 4RC 合同夜間例会  
ビジター受付 定刻(12:00~12:30) 定例会場(すいてんかく)

3. 休会

松江しんじ湖 RC 1/6(火) 定款により  
ビジター受付 定刻(12:00~12:30) 定例会場(すいてんかく)

4. ホテルほり江さまよりお歳暮を頂きました。

5. 青少年新春コンサートチケット配布

(チケットに数枚余分がありますのでご希望の方は事務局までお申し出下さい。)

■スマイル

内田 (藤原次長様、本日はようこそ、スピーチ楽しみにしています。今年最後の例会です。)

福田 (2014年も最後の例会となりました。会員の皆様のご協力により半年、無事終ることができました。)

大島治 (藤原様、今日はありがとうございます。)

飯塚大 (藤原様いつもお世話になっております。本日はようこそいらっしゃいました。)

小汀 (藤原様、本日は足元の大変悪い中、ようこそおでかけ下さいました。お話、楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。)

■スピーチ・例会行事

「出雲文化伝承館の博物館事業」



出雲文化伝承館  
(出雲市芸術文化振興財団)

博物館事業部 次長 藤原 隆 様

出雲文化伝承館は平成3年に斐川町の江角家から出雲市に寄贈されたお屋敷を利用して、出雲市初の文化施設として設立されました。また出雲市芸術文化振興財団は、現在公益財団法人として、ホール系の芸術文化事業と博物館事業、さらに貸館業務を行っています。

博物館事業の柱は、(1)展覧会事業、(2)資料の調査・研究・保存、(3)教育普及事業の3つです。展覧会には企画会社の展覧会と自主企画の展覧会があり、それぞれ一長一短がありますが、自主企画は学芸員の腕の見せ所であり、自主企画により館は活性化します。出雲文化伝承館では約8割が自主企画です。

出雲地方の文化的特徴として、(1)出雲大社・出雲神話を中心とした口マンある歴史・信仰・文化人等(その他に尼子氏、塩冶高貞、松本巖、村田寂順、釈雲照、斐川勝部家、平田木佐家、儀満家、今市山田家…)が挙げられます。また、(2)松平不昧公により発展した茶道文化や秀逸な美術工芸(出雲焼、漆壺斎、曾遊画家など)、(3)中国地方でもレベルの高い文芸(詩歌)・学問(大社文学、漢詩、雨森精翁、伊藤宜堂、金本摩斎、勝部其楽、日置風水、中島魚坊、原石鼎…)があります。出雲地方の中では、松江は武家主導、出雲部は特に出雲大社や裕福な町人層(豪農、豪商)が支えたことが特徴です。

これらを踏まえて、出雲ゆかりの美術工芸・文芸作品・文化人など「文化財」を再認識していただき、次世代に継承していくことが出雲文化伝承館の大きな目的です。また県立施設にはできない細やかな地域密着型の事業を繰り返すことにより、市民が郷土に自信と誇りを持って心豊かに暮らしていただくことで、出雲市および市民のidentity確立に寄与していきたいと思っております。